ぐんま緑の県民基金 市町村提案型事業

令和元年度開始事業·令和3年度評価 調査集約書



荒廃した里山・平地林の整備

評価箇所数	項目	Α	В	С	未回答
40	内訳	27	22		
49	構成比%	55%	45%	0%	0%



	評価番号		事業	計画	市町村名	事業区分	事業細区分	継続	事業名	事業実施者もしくは	事業概要	事業費	県補助金	I 9	ミ績	Π-1	1効果	п –	2効果	判定
	計興報方	£	丰度	番号	111111111111111111111111111111111111111	争未达刀	/細々区分	和金利の	尹朱 有	活動団体の名称	争未似女	(円)	(円)	補助 (自己評価)	①平均	地域	②平均	地域	③平均	1+2+3
			R1		安中市	里山·平地林	整備/竹林全伐採	新規	国衙地区竹林整備事業		地域の団体による野生鳥獣被害防止及び森林機能維持のための竹林整備。	179,135	179,000	12	12	-	5	,	7	24
١,	安中-里山-R3-1		R2		安中市	里山·平地林	管理	継続	国衙(名山)地区竹林整備事業	なやま地区里山の会	伐跡地の刈払い。	30,550	30,000	12	В	3	В		С	В
'	女子 至田 1/3 1	F	 成果	野生鳥	獣の住処とな	いていたヤブを	解消できた。													
		oid	果題	管理を	長期間実施し	ていけるような	体制づくりが必要。													

評価番号		事業	計画	市町村名	事業区分	事業細区分	610 6±	事業名	事業実施者もしくは	事業概要	事業費	県補助金	I 9	実績	II — 1	効果	п —	2効果	判定
評価番写		年度	番号	111111111111111111111111111111111111111	争未达刀	/細々区分	松初	学未 位	活動団体の名称	争未似女	(円)	(円)	補助 (自己評価)	①平均	地域	②平均	地域	③平均	1+2+3
		R1		安中市	里山·平地林	整備/竹林全伐採	新規	土塩地区(小柏)竹林整備事業	土塩地区を守る会	地域の団体による野生鳥獣対策のための竹林整備。	284,964	270,000	12	12	-	5	7	7	24
安中-里山-R3-	. [R2		安中市	里山·平地林	管理	継続	土塩地区(小柏)竹林整備事業	土塩地区を守る会	伐跡地の刈払い。	37,209	27,000	12	В	3	В	,	С	В
 女中-王田-1/2-	_	成果	荒廃した	と竹林が整備	まされ、良好な状	態となった。													
		課題	管理を	長期間実施し	ていけるような	体制づくりが必要。													

	評価番号		業	計画	市町村名	事業区分	事業細区分	创业业本	事業名	事業実施者もしくは	事業概要	事業費	県補助金	I 実	E 績	11 —	効果	п —	2効果	判定
	計価無名	年	F度	番号	1114111143	学来区 力	/細々区分	44± 490	学 未看	活動団体の名称	争未例女	(円)	(円)	補助(自己評価)	①平均	地域	②平均	地域	③平均	1+2+3
		F	R1		藤岡市	里山·平地林	困難地整備支援/	新規	犬間森林保全業		藤岡市による道路の安全確保と景観保全を目的とした道路 沿線の森林・竹林整備。	4,068,600	2,221,000	20	20	10	10	15	15	45
2	藤岡-里山-R3-1	F	R2		藤岡市	里山·平地林	管理	継続	犬間森林保全業		地域の自治会による生活道路の安全確保及び景観保全のための森林管理。	25,000	20,000	20	Α	10	Α	15	Α	А
3	燥岡 主山 1/3 1	成	大果 き	森林伐	采により道路	の景観が良くな	り日照が改善され地域	住民に	喜ばれた。											
		888	課題 7	高齢化-	や会員不足に	こより継続した管	・理が難しくなっている。													

	評価番号	事業	計画	市町村	+ &	事業区分	事業細区分	610 6±	事業名	事業実施者もしくは	事業概要	事業費	県補助金	ΙJ	ミ績	Π-1	効果	п —	2効果	判定
	計価番号	年度	番号	11111111	142	争来应力	/細々区分	松本初	学未有	活動団体の名称	争未似女	(円)	(円)	補助(自己評価)	①平均	地域	②平均	地域	③平均	1+2+3
		R1		神流	町	里山·平地林	困難地整備支援	新規	神ヶ原恐竜センター下竹林伐採事業		神流町による、景観改善、遊歩道の安全確保、野生獣類対 策のための竹林整備。	1,296,000	1,296,000	12	12	e	6	12	12	30
	神流-里山-R3-1	R2		神流	町	里山·平地林	管理	継続	神ヶ原恐竜センター下竹林管理事業		町による獣害の防止、安心・安全な生活環境の維持を目的と した竹林管理。	25,440	12,000	12	В	0	В	12	Α	В
1	神派-重四-K3-1	成果	当初	計画の目	的を補	助金交付額を	上回ることなく達成できた	٤.												
		課題	自己	負担が困	誰であ	り、補助財源に	依存しているため、限ら	れた事	『業内容になってしまう。											

	評価番号	事業	計画	古町村名	事業区分	事業細区分	创业业本	事業名	事業実施者もしくは	事業概要	事業費	県補助金	I 隽	績	II — 1	効果	п —:	2効果	判定
	計細報方	年度	番号	III WITT TO	学来位 刀	/細々区分	和企初	学 未有	活動団体の名称	争未例女	(円)	(円)	補助 (自己評価)	①平均	地域	②平均	地域	③平均	1+2+3
		R1		神流町	里山·平地林				神流町	神流町による、景観改善、野生獣類対策のための竹林整備。	697,300	547,000	12	12		6		12	30
		R2		神流町	里山·平地林	苗木·資材購入/苗木 購入	継続	船子竹林植栽事業	ひのき会	事業により全伐した跡地への植栽苗木の購入。	30,000	30,000	12		6		12		
Ę	神流-里山-R3-2	R2		神流町	里山·平地林	管理	継続	船子竹林管理事業		地域の団体による獣害の防止、安心・安全な生活環境の維 持を目的とした森林管理。	10,000	8,000	12	В		В		Α	В
		成果	当初計	画の目的を袖	輔助金交付額を.	上回ることなく達成できた	=												
		課題	自己負	担が困難であ	あり、補助財源に	依存しているため、限ら	れた事	業内容になってしまう。											

	評価番号	事業	計画	市町村名	事業区分	事業細区分	创业企士	事業名	事業実施者もしくは	事業概要	事業費	県補助金	19	ミ績		1効果		2効果	判定
	計叫世方	年度	番号	111111111111111111111111111111111111111		/細々区分	和金利化		活動団体の名称	争来似女	(円)	(円)	補助 (自己評価)	①平均	地域	②平均	地域	③平均	1+2+3
		R1		上野	里山·平地林	困難地整備支援/森林 間伐	新規	上野村里山景観整備事業		上野村による獣害の防止及び里山景観美化を目的とした森 林整備。	1,500,000	1,500,000	12	12	6	6	12	12	30
6	上野-里山-R3-1													В	Ů	В	12	Α	В
0	工計 至四 1/0 1	成果	地元に	よる管理が維	送続された結果、	良好な状態維持すること	ができ	<i>t</i> t=.											
		課題	高齢者	の中には昔か	から近所の伐採	など自分でできる範囲で	行って	きた方がいるが、技術をもった方が減少してきて	こいるため、管理の継続が	どこまでできるか不透明である。									

		事業		市町村名	事業区分	事業細区分	619 6±	事業名	事業実施者もしくは	事業概要	事業費	県補助金	I 実	E 績	II — 1	効果	Π-	2効果	判定
	計価番写	年度	番号	111111111111111111111111111111111111111	争未经万	/細々区分	花物	学未 位	活動団体の名称	争未似女	(円)	(円)	補助 (自己評価)	①平均	地域	②平均	地域	③平均	1+2+3
		R1		上野	里山·平地林	困難地整備支援/森林 間伐·竹林全伐	新規	上野村里山景観整備事業		上野村による獣害の防止及び里山景観美化を目的とした森 林整備。	1,602,800	1,440,000	12	12	6	6	12	12	30
١,	上野-里山-R3-2	R2		上野	里山·平地林	管理	継続	上野村里山景観整備事業	上野村 (振興課)	村による里山の獣害防止と景観美化を目的とした森林管理。	297,000	148,000	12	В	0	В	12	Α	В
,	工到-王川-142-2	成果	村で林	業が盛んなは	頁に比べ、なかな	か整備できない場所が	増えて	きたが、当該事業により着実に整備を進めること	こができた。										
		課題	土地所	有者が村内	こいない場合な	ど、承諾に時間がかかり	、スム・	ーズに施工できないことが懸念される。											

評価番号	事業	計画	市町村名	事業区分	事業細区分	がなる本	事業名	事業実施者もしくは	事業概要	事業費	県補助金	I 其	E 績	11 —	1効果	11 -	2効果	判定
計興報方	年度	番号	III WITTI 12		/細々区分	和金利定		活動団体の名称	争未例女	(円)	(円)	補助 (自己評価)	①平均	地域	②平均	地域	③平均	1+2+3
	R1		富岡市	里山·平地林	困難地整備支援/森林 全伐	新規	里山再生事業		富岡市による通学路の安全確保及び獣害の未然防止、里の 景観づくり等を目的とした森林整備。	580,000	580,000	11	16	10	10	15	15	41
富岡-里山-R3-1	R2		富岡市	里山·平地林	管理	継続			整備した箇所の景観を維持し、安全安心な生活環境が保て るよう管理を行う	40,000	40,000	20	Α	10	Α	15	Α	А
雷岡 王田 1/3 1	成果	景観0	O維持管理が	継続的に行われ	た結果、安心安全な地域	域が保	たれた。											
	課題	実施団	間体の高齢化	や後継者不足に	より今後の事業継続に	ついて	下安がある。											

評価番号	事業	計画	市町村名	事業区分	事業細区分	610 6±	事業名	事業実施者もしくは	事業概要	事業費	県補助金	I 9	ミ績	Π-1	効果	п —	2効果	判定
計価番号	年度	番号	111111111111111111111111111111111111111		/細々区分	菘枕		活動団体の名称	争未似女	(円)	(円)	補助(自己評価)	①平均	地域	②平均	地域	③平均	1+2+3
	R1		富岡市	里山·平地林	困難地整備支援/竹林 全伐	新規	里山再生事業		富岡市による野生鳥獣対策及び景観改善を目的とした森林 整備。	1,070,000	1,070,000	11	16	10	10	15	15	41
富岡-里山-R3-2	R2		富岡市	里山·平地林	管理	継続	市町村提案型事業	明戸竹林整備の会	整備した箇所の景観を維持し、安全安心な生活環境が保て るよう管理を行う	20,000	20,000	20	Α	10	Α	15	Α	Α
品 iii − 主 ii − 1 − 1 − 1 − 1 − 1 − 1 − 1 − 1 − 1	成果	景観の	維持管理が	継続的に行われ	た結果、安心安全な地域	或が保	たれた。											
	課題	実施団	体の高齢化	や後継者不足に	より今後の事業継続に	ついて	不安がある。											

	評価番号	事業		市町村名	事業区分	事業細区分	如此	事業名	事業実施者もしくは	事業概要	事業費	県補助金	ΙJ	ミ績	11 —	1効果	Π-	2効果	判定
	計叫番号	年度	番号	111 111 111 111	争未必刀	/細々区分	和企初	尹未 在	活動団体の名称	争未似女	(円)	(円)	補助 (自己評価)	①平均	地域	②平均	地域	③平均	1+2+3
		R1		富岡市	里山·平地林	整備/竹林全伐	新規	竹林整備事業		地域の団体による獣害対策、景観維持、安全・安心な生活環 境づくりを目的とした竹林管理。	1,964,325	1,960,000	11	16	10	10	15	15	41
1/	富岡-里山-R3-3	R2		富岡市	里山·平地林	管理	継続	市町村提案型事業	富岡市シニア先遣隊	整備した箇所の景観を維持し、安全安心な生活環境が保て るよう管理を行う。	891,817	890,000	20	Α	10	Α	15	Α	А
10	田岡 王田 1/3 3	成果	景観の	維持管理が	継続的に行われ	た結果、安心安全な地	域が保	たれた。											
		課題	実施団	体の高齢化	や後継者不足に	より今後の事業継続に	ついて	不安がある。											

	評価番号	事業		市町村名	事業区分	事業細区分	610 6±	事業名	事業実施者もしくは	事業概要	事業費	県補助金	I 実	E 績	II — 1	効果	II —:	2効果	判定
	計価番号	年度	番号	印刷机石	争未经万	/細々区分	松本初定	中未 位	活動団体の名称	争未似女	(円)	(円)	補助(自己評価)	①平均	地域	②平均	地域	③平均	1+2+3
		R1		下仁田町	里山·平地林	困難地整備支援/森林 全伐	新規	中小坂(小豆畑)森林整備		下仁田町による自然災害、有害鳥獣対策、景観維持を目的 とした森林整備。	2,656,900	510,000	13	14		8		10	32
		R2		下仁田町	里山·平地林	苗木・資材購入	継続	中小坂(小豆畑)森林整備		地域の自治会による自然災害、有害鳥獣対策、景観維持を 目的とした森林管理。	55,230	55,000	14		8		10		
11	下仁田-里山-R3-1	R2		下仁田町	里山·平地林	管理	継続	中小坂(小豆畑)森林整備		地域の自治会による自然災害、有害鳥獣対策、景観維持を 目的とした森林管理。	547,197	51,000	14	В		Α		В	Α
		成果	ヤブが	刈り払われて	有害鳥獣の出	殳が改善された。													
		課題	急傾斜	地や管理団体	本の高齢化など	の理由から、管理作業に	主主体的	りに取り組むことが困難であり委託作業を活用し	て管理をおこなっている	大況であることが課題。	•				•	•		•	•

	評価番号	事類	計画	市町村名	事業区分	事業細区分	619 6±	事業名	事業実施者もしくは	事業概要	事業費	県補助金	I 隽	績	п —	効果	п —	2効果	判定
	許伽番号	年度	番号	111 111 111 111		/細々区分	桃至初定		活動団体の名称	争未似女	(円)	(円)	補助 (自己評価)	①平均	地域	②平均	地域	③平均	1+2+3
		R1		下仁田町	里山·平地林	困難地整備支援/森林 全伐	新規	中小坂(大泓)森林整備		下仁田町による自然災害、有害鳥獣対策、景観維持を目的 とした森林整備。	1,439,800	352,000	13	14		8		10	32
		R2		下仁田町	里山·平地林	苗木·資材購入	継続	中小坂(大泓)森林整備		地域の自治会による自然災害、有害鳥獣対策、景観維持を 目的とした森林管理。	57,860	45,000	14		8		10		
1	: 下仁田-里山-R3-2	R2		下仁田町	里山·平地林	管理	継続	中小坂(大泓)森林整備		地域の自治会による自然災害、有害鳥獣対策、景観維持を 目的とした森林管理。	276,409	22,000	14	В		Α		В	Α
		成县	道路	沿線の樹木を	戈採したことによ	り景観が改善された結り	早、イノ	シシやシカの被害が軽減された。											
		課是	事業3	ミ施により整備	請が困難な箇所2	が改善された事に感謝し	ている	が、森林を守る等の意識の向上については課題	直が残る 。										

	評価番号	事業	計画	市町村名	事業区分	事業細区分	创业业本	事業名	事業実施者もしくは	事業概要	事業費	県補助金	I美			効果		2効果	判定
	計圖量方	年度	番号	III MITTI CO		/細々区分	44± 490		活動団体の名称	争未似女	(円)	(円)	補助(自己評価)	①平均	地域	②平均	地域	③平均	1+2+3
		R1		下仁田町	里山·平地林	困難地整備支援/森林 全伐	新規	馬山(上鎌田)森林整備		下仁田町による自然災害、有害鳥獣対策、景観維持を目的 とした森林整備。	5,968,400	718,000	14	14	0	8	10	10	32
1	3 下仁田-里山-R3-3	R2		下仁田町	里山·平地林	管理	継続	馬山(上鎌田)森林整備		地域の自治会による自然災害、有害鳥獣対策、景観維持を 目的とした森林管理。	435,409	42,000	13	В	0	Α	10	В	Α
1	о ГПШ-ЕЩ-КО-О	成果	雑草や	竹林でうっそ	うとしていたが、	刈り払いによって、日が	差し込	むようになり景観が改善された。											
		課題	伐採の	範囲や木材の	の搬出処理など	については様々な意見が	があり、	理解を得るのが難しいという現状がある。											

	評価番号	ā	事業	計画	市町村名	事業区分	事業細区分	创业企士	事業名	事業実施者もしくは	事業概要	事業費	県補助金	I身	E 績	11 —	効果	п —:	2効果	判定
	計逥丗写	4	年度	番号	비베월		/細々区分	和企物化		活動団体の名称	争来似女	(円)	(円)	補助 (自己評価)	①平均	地域	②平均	地域	③平均	1+2+3
			R1		下仁田町	里山·平地林	困難地整備支援/森林 全伐	新規	青倉(番匠免)森林整備		下仁田町による自然災害、有害鳥獣対策、景観維持を目的 とした森林整備。	2,309,900	613,000	18	15		8		10	33
			R2		下仁田町	里山·平地林	苗木·資材購入	継続	青倉(番匠免)森林整備		地域の自治会による自然災害、有害鳥獣対策、景観維持を 目的とした森林管理。	26,300	26,300	14		8		10		
1-	下仁田-里山-R3-4	4	R2		下仁田町	里山·平地林	管理	継続	青倉(番匠免)森林整備		地域の自治会による自然災害、有害鳥獣対策、景観維持を 目的とした森林管理。	221,095	25,000	14	Α		Α		В	Α
		J	成果	伐採に	より日当たり	が良好となり、道	道路の凍結が改善され車	両通行	うの安全に役立っている。またヤブが刈り払われ	1て有害鳥獣の出没も改善	きされた。									
		910	課題	現地は	切り立った崖	や急傾斜地であ	あるため、地域住民が継	続的に	管理を行う事が著しく困難である。											

		評価番号	事業	計画	市町村名	事業区分	事業細区分	似金女士	事業名	事業実施者もしくは	事業概要	事業費	県補助金	ΙJ	ミ績	II — 1	効果	п —:	2効果	判定
		計価番写	年度	番号			/細々区分	松桃		活動団体の名称	中 未似女	(円)	(円)	補助 (自己評価)	①平均	地域	②平均	地域	③平均	1+2+3
			R1		南牧村	里山·平地林	困難地整備支援/森林 全伐·間伐	新規	南牧村林地荒廃対策整備支援事業		南牧村による野生鳥獣対策、景観及び生活環境の維持を目 的とした森林整備。	286,000	216,000	16	16	7	7	10	10	33
1		南牧-里山-R3-1	R2		南牧村	里山·平地林	管理	継続			野生鳥獣対策、景観及び生活環境を維持するための管理を 行う	30,000	30,000	15	Α	'	В	10	В	Α
13	F	用权-至山-163-1	成果	定期的	に管理を行う	うことで景観形成	に繋がった。													
			課題	当初目	標は概ね達	成されたが、今後	後より良い景観形成のた	め、作	業内容の検討が課題である。											

		評価番号	事業		市町村名	事業区分	事業細区分	がなる本	事業名	事業実施者もしくは	事業概要	事業費	県補助金	I美	E 績	п —	効果	11 -	2効果	判定
		計叫钳方	年度	番号	11141111111		/細々区分	和金利定		活動団体の名称	争未例女	(円)	(円)	補助 (自己評価)	①平均	地域	②平均	地域	③平均	1+2+3
			R1		甘楽町	里山·平地林	困難地整備支援/竹林 全伐	新規		日采町	甘楽町による生活道路の安全確保(路面凍結等による交通 障害の解消に向けた日照改善)のための竹林整備。	5,995,000	5,200,000	15	18	10	10	15	15	43
11		才楽-里山-R3-1	R2		甘楽町	里山·平地林	管理	継続	上引田竹林整備	甘楽町行政連絡区第2 3区	管理作業により、適正な道路の安全確保と環境整備を図る	69,014	68,000	20	Α	10	Α	15	Α	Α
1.0	"	1米 主田 1/0 1	成果	草木が	覆い被さって	いたような状況	が改善され、安全な道路	格環境と	なった。											
			課題	管理の	継続性。															

	**************************************	事業	計画	市町村	+ &	事業区分	事業細区分	600 6士	事業名	事業実施者もしくは	事業概要	事業費	県補助金	I身	績	п —	効果	п –	2効果	判定
	評価番号	年月	番号	; III W 1 1	142		/細々区分	極初		活動団体の名称	争未例女	(円)	(円)	補助(自己評価)	①平均	地域	②平均	地域	③平均	1+2+3
		R1		中之纪	美町	里山·平地林	困難地整備支援/森林 全伐	新規	伊勢町古垣内松林整備事業		中之条町による立ち枯れしている松林における危険倒木の 除去	2,101,000	220,000	18	14		8		10	32
		R2		中之约	€町 .	里山·平地林	苗木・資材購入	継続	伊勢町古垣内松林整備事業定植作業	中之条町(農林課)	景観維持のための広葉樹定植による山林の再生	94,000	30,000	12		8		10		
1	7 中之条-里山-R3-1	R2		中之乡	€町.	里山·平地林	管理	継続	伊勢町古垣内松林整備事業管理作業	中之条地区第1区	日照改善による隣接する道路凍結防止のための森林管理	18,000	16,000	11	В		Α		В	Α
		成具	県道	脇の立ち	古れしそ	そうな松を伐採	でき、通行の安全を確保	まするこ	ことができた,											
		課品	管理	団体の高	齢化が	進み、地域での	の管理が進まない状況が	《課題	である。											

		評価番号	事業	計画	市町村名	事業区分	事業細区分	创业业本	事業名	事業実施者もしくは	事業概要	事業費	県補助金	I美	緩		効果	II — 2	2効果	判定
		計価報方	年度				/細々区分	和企物区	学来 在	活動団体の名称	争未似女	(円)	(円)	補助(自己評価)	①平均	地域	②平均	地域	③平均	1+2+3
			R1		中之条町	里山·平地林	困難地整備支援/竹林 全伐	新規	下市城塔本竹林整備事業	中之条町 (農林課)	中之条町による野生鳥獣対策及び景観改善の竹林整備	2,563,000	1,700,000	17	15	0	8	10	10	33
10	١,	中之条-里山-R3-2	R2		中之条町	里山·平地林	管理	継続	下市城塔本竹林整備事業管理作業	市城公民館	野生鳥獣対策及び景観改善のための竹林管理	52,000	39,000	12	Α	0	Α	10	В	Α
10		↑ 之未 主山 N3 2	成果	竹林の	全伐により景	観が改善された	•													
			課題	困難地:	支援整備を写	尾施した急傾斜 は	也の管理は、一般の方で	きはでき	ない。竹林であった場所の急傾斜地は足の踏み	み場もなく、命の危険性もな	5り、管理の継続性という面では困難な状況がある。									

	評価番号	事		画	市町村名	事業区分	事業細区分	610 6±	事業名	事業実施者もしくは	事業概要	事業費	県補助金	I 実	E 績	II — 1	効果	Π-	2効果	判定
	許伽番号	年度 R1	变 番	号	印刷和石		/細々区分	松初		活動団体の名称	争未似女	(円)	(円)	補助(自己評価)	①平均	地域	②平均	地域	③平均	1+2+3
		R	1		中之条町	里山·平地林	困難地整備支援/森林 全伐	新規	折田小川団地周辺森林整備事業		中之条町による隣接道路及び住宅への日照改善のための森 林整備	3,373,700	610,000	15	11		8		10	29
		R	2		中之条町	里山·平地林	苗木・資材購入	継続	折田小川団地周辺森林整備事業定植作業	中之条町(農林課)	土砂流出防備と日照及び景観向上のための広葉樹定植	18,000	12,000	10		8		10		
19	中之条-里山-R3-3	R	2		中之条町	里山·平地林	管理	継続	折田小川団地周辺森林整備事業管理作業	中之条地区第4-2区	日照改善による隣接する道路凍結防止のための森林管理	10,000	8,000	8	В		Α		В	В
		成	果町割	営住宅	脇にある樹	木を伐採したこ	とで、日照改善や景観に	句上に	繋がった。											
			題 特列	株伐採	果を行ったが	、単価が高いと	いう課題がある。									•				·

	評価番号	事業	計画	市町村名	事業区分	事業細区分	创业业本	事業名	事業実施者もしくは	事業概要	事業費	県補助金	I美	E 績	Ⅱ — 1	効果	п –	2効果	判定
	計叫無方	年度	番号	1114111111		/細々区分	和金利化		活動団体の名称	甲未例女	(円)	(円)	補助(自己評価)	①平均	地域	②平均	地域	③平均	1+2+3
		R1		中之条町	里山·平地林	困難地整備支援/森林 全伐	新規	五反田親都森林整備事業		中之条町による日照改善による隣接道路の凍結防止のため の森林整備	2,708,200	310,000	15	13		8		10	31
		R2		中之条町	里山·平地林	苗木・資材購入	継続	五反田親都森林整備事業定植作業	中之条町(農林課)	日照確保と景観向上のための広葉樹の定植	29,000	25,000	12		8		10		
2	中之条-里山-R3-4	R3		中之条町	里山·平地林	管理	継続	五反田親都森林整備事業管理作業	伊参地区第6区	日照改善による隣接する道路凍結防止のための森林管理	94,000	63,000	11	В		Α		В	В
		成果	県道脳	の森林を全信	戈したことで、冬	期の交通障害がなくなり	事故	防止に繋がった。											
		課題	やや作	業面積単価	が高いことが、罰	課題である。					•		•				•	•	

	評価番号	事業	計画	市町村名	事業区分	事業細区分	创业业本	事業名	事業実施者もしくは	事業概要	事業費	県補助金	I実			効果		2効果	判定
	計叫量方	年度	番号	111111111111111111111111111111111111111		/細々区分	和金利化		活動団体の名称	争未似女	(円)	(円)	補助 (自己評価)	①平均	地域	②平均	地域	③平均	1+2+3
Ī		R1		中之条町	里山·平地林	困難地整備支援/森林 全伐	新規	五反田白久保県道東森林整備		中之条町による日照改善による隣接道路の凍結防止のため の森林整備	1,945,900	150,000	14	12		8		10	30
		R2		中之条町	里山·平地林	苗木・資材購入	管理	五反田白久保県道東森林整備定植作業	中之条町(農林課)	日照確保と景観向上のための広葉樹の定植	50,000	18,000	10		8		10		
	ウィッド・ウェア 中之条-里山-R3-5	R2		中之条町	里山·平地林	管理	管理	五反田白久保県道東森林整備管理作業	伊参地区第6区	日照改善による隣接する道路凍結防止のための森林管理	14,000	12,000	11	В		Α		В	В
		成果	景観も	向上したこと	で住民から評価	を受けた。													
		課題	やや作	非業面積単価	が高いことが、説	果題である。							•			•	•		

		評価番号	事業	計画	市町村名	事業区分	事業細区分	经企业	事業名	事業実施者もしくは	事業概要	事業費	県補助金	I美	績	п — 1	効果	п —:	2効果	判定
		可順番う	年度	番号			/細々区分	442:490		活動団体の名称	争未例支	(円)	(円)	補助 (自己評価)	①平均	地域	②平均	地域	③平均	1+2+3
			R1		高山村	里山·平地林	困難地整備支援/竹林 全伐	新規	高山村竹林整備事業		高山村による野生鳥獣対策及び景観保全を目的とした竹林 の整備。	29,860,000	29,860,000	13	13	e	6	0	9	28
	2	高山-里山-R3-1	R2		高山村	里山·平地林	管理	継続	高山村尻高地区竹林整備事業	高山村15工区	野生鳥獣対策及び景観対策のための竹林管理	663,000	552,000	12	В	0	В	9	В	В
-	2	同田 主田 八3 1	成果	里山の	見通しがよく	なり、住宅付近く	への有害鳥獣の進出が	印制され	nt:.											
			課題	高齢者	の割合が加え	速しているため、	管理が十分にできるの	かが課	題である。											

		事業		市町村名	事業区分	事業細区分	619 6±	事業名	事業実施者もしくは	事業概要	事業費	県補助金	I 隽	績	II — 1	効果	п —	2効果	判定
	評価番写	年度	番号	111 111 111 111		/細々区分	花物		活動団体の名称	争来似女	(円)	(円)	補助(自己評価)	①平均	地域	②平均	地域	③平均	1+2+3
		R1		高山村	里山·平地林	困難地整備支援/森林 間伐	新規	高山村地区里山·平地林整備事業		高山村による野生鳥獣対策及び景観保全を目的とした里山 平地林の整備。	9,429,000	9,429,000	13	13	6	6	0	9	28
2	高山-里山-R3-2	R2		高山村	里山·平地林	管理	継続	高山村尻高地区里山·平地林整備事業	高山村16工区	野生鳥獣対策及び景観対策のための森林管理	2,361,000	1,967,000	12	В	0	В	9	В	В
2	同四-主四-代3-2	成果	里山の	見通しがよく	なり、住宅付近々	への有害鳥獣の進出が	印制され	nt=.											
		課題	高齢者	の割合が加え	速しているため、	管理が十分にできるの	かが課	題である。											

	評価番号	事業	計画	市町村名	事業区分	事業細区分	创业业本	事業名	事業実施者もしくは	事業概要	事業費	県補助金	I 簿	E 績	п —	1効果	п –	2効果	判定
	計逥世方	年度	番号	111111111111111111111111111111111111111		/細々区分	和金利の		活動団体の名称	争未例女	(円)	(円)	補助(自己評価)	①平均	地域	②平均	地域	③平均	1+2+3
		R1		高山村	里山·平地林	困難地整備支援/森林 全伐	新規	高山村地区里山·平地林整備事業		高山村による野生鳥獣対策及び景観保全を目的とした里山 平地林の整備。	10,950,000	10,950,000	13	13		6	0	9	28
2	高山-里山-R3-3	R2		高山村	里山·平地林	管理	継続	高山村尻高地区里山·平地林整備事業	高山村17工区	野生鳥獣対策及び景観対策のための森林管理	1,411,000	1,176,000	12	В	0	В	9	В	В
2	同田 王田 1/3 3	成果	里山の	見通しがよく	なり、住宅付近・	への有害鳥獣の進出が	印制され	nt=.											
		課題	高齢者	の割合が加	速しているため、	管理が十分にできるの	かが課	題である。											

		評価番号	事業	計画	市町村名	事業区分	事業細区分	610 6±	事業名	事業実施者もしくは	事業概要	事業費	県補助金	I美	緩	Ⅱ — 1	効果	п —	2効果	判定
		計価番号	年度				/細々区分	松本初定		活動団体の名称	争未似女	(円)	(円)	補助(自己評価)	①平均	地域	②平均	地域	③平均	1+2+3
			R1		高山村	里山·平地林	困難地整備支援/森林 全伐	新規	高山村地区里山·平地林整備事業		高山村による野生鳥獣対策及び景観保全を目的とした里山 平地林の整備。	3,760,000	3,760,000	13	13	6	6		9	28
0	5	高山-里山-R3-4													В	0	В	9	В	В
2	0	高山-里山-R3-4	成果	里山の	見通しがよく	なり、住宅付近々	への有害鳥獣の進出が	抑制さ	nt=.											
			課題	高齢者	の割合が加	速しているため、	管理が十分にできるの	かが課	題である。											

	評価番号	事業	計画	市町村名	事業区分	事業細区分	经企业	事業名	事業実施者もしくは	事業概要		県補助金	I 実	績	Ⅱ — 1	効果	п —:	2効果	判定
	町川田り	年度	番号			/細々区分	442:490		活動団体の名称	甲未例文	(円)	(円)	補助 (自己評価)	①平均	地域	②平均	地域	③平均	1+2+3
		R1		東吾妻町	里山·平地林	困難地整備支援/森林 全伐	新規	広野原地区森林整備事業		東吾妻町による野生鳥獣害対策及び景観保全を目的とした 放置森林の整備	1,441,000	559,000	12	12	7	7	0	9	28
2	東吾妻-里山-R3-1	R2		東吾妻町	里山·平地林	管理	継続	広野原地区森林管理事業	小泉区自治会	野生鳥獣対策や景観保全を目的とした森林の整備	141,092	141,000	12	В	,	В	9	В	В
2	末口安 主山 NO I	成果	広範囲	であるが、各	個人で手分けし	て作業を行い、管理を終	もけるこ	とができた。											
		課題	各個人	で作業してい	る部分において	は、作業成果にばらつ	きがある	5.											

			事業		市町村名	事業区分	事業細区分	619 6±	事業名	事業実施者もしくは	事業概要	事業費	県補助金	I 実	E 績	II — 1	1効果	п —	2効果	判定
		計価番写	年度	番号	111111111111111111111111111111111111111		/細々区分	菘称		活動団体の名称	争未似女	(円)	(円)	補助(自己評価)	①平均	地域	②平均	地域	③平均	1+2+3
			R1		東吾妻町	里山·平地林	困難地整備支援/森林 全伐	新規	広野地区森林整備事業		東吾妻町による野生鳥獣害対策及び景観保全を目的とした 放置森林の整備	594,000	300,000	12	12	7	7	0	9	28
	7	東吾妻-里山-R3-2	R2		東吾妻町	里山·平地林	管理	継続	広野地区森林管理事業	ひろの里山の会	野生鳥獣対策や景観保全を目的とした森林の整備	21,403	20,000	12	В	,	В	9	В	В
2	'	米古委-王山-173-2	成果	篠が多	く繁茂してお	り、早い時期から	ら刈り払いと除草材を組	み合わ	せて効率的に管理することができた。											
			課題	作業量	が多いため、	いかに作業の負	負担を軽減するかが課題	i.												

		評価番号	事業	計画	市町村名	事業区分	事業細区分	继続	事業名	事業実施者もしくは	事業概要	事業費	県補助金	ΙJ	E 績	11 —	効果	п —	2効果	判定
		計価報写	年度	番号	1114111111		/細々区分	412.490		活動団体の名称	甲未伽文	(円)	(円)	補助 (自己評価)	①平均	地域	②平均	地域	③平均	1+2+3
			R1		東吾妻町	里山·平地林	困難地整備支援/竹林 全伐	新規	小田沢地区竹林伐採事業		東吾妻町による野生鳥獣害対策及び景観保全を目的とした 放置竹林の整備	748,000	748,000	12	12	7	7	0	9	28
2	,	東吾妻-里山-R3-3	R2		東吾妻町	里山·平地林	管理	継続	小田沢地区竹林管理事業	天神さま管理会	野生鳥獣対策や景観保全を目的とした竹林の整備	12,512	12,000	12	В	,	В	9	В	В
2	,	* G 英 主山 N3 3	成果	民家や	耕作地に囲	まれているが、地	地域住民で協力して管理	するこ	とができた。また獣害対策に寄与している。											
			課題	今後の	管理体制に	下安がある。														

		評価番号	事業	計画	市町村名	事業区分	事業細区分	610 6±	事業名	事業実施者もしくは	事業概要	事業費	県補助金	I美	緩	Ⅱ — 1	効果	п —:	2効果	判定
		計価番写	年度				/細々区分	桃玉初江		活動団体の名称	争未似女	(円)	(円)	補助(自己評価)	①平均	地域	②平均	地域	③平均	1+2+3
			R1		東吾妻町	里山·平地林	困難地整備支援/竹林 全伐	新規		(農林課)	東吾妻町による野生鳥獣害対策及び景観保全を目的とした 放置竹林の整備	2,013,000	2,013,000	12	12	7	7	0	9	28
2	9 :	東吾妻-里山-R3-4	R2		東吾妻町	里山·平地林	管理	継続	十二沢地区竹林管理事業	大石十二沢竹林管理組 合	野生鳥獣対策や景観保全を目的とした竹林の整備	33,660	32,000	12	В	,	В	9	В	В
2		米古委-王山-173-4	成果	管理者	で協力して作	業を行い、状態	を維持することができた													
			課題	今後の	いかに作業の	の負担を軽減す	るかが課題。													

	評価番号	事業	計画	市町村名	事業区分	事業細区分	创业业本	事業名	事業実施者もしくは	事業概要	事業費	県補助金	I集	續	II — 1	効果	п —	2効果	判定
	計叫世芍	年度	番号	111111111111111111111111111111111111111		/細々区分	和金利定		活動団体の名称	争未似女	(円)	(円)	補助(自己評価)	①平均	地域	②平均	地域	③平均	1+2+3
		R1		東吾妻町	里山·平地林	困難地整備支援/竹林 全伐	新規	迦葉地区竹林整備事業		東吾妻町による野生鳥獣害対策及び景観保全を目的とした 放置竹林の整備	1,023,000	1,023,000	12	12	7	7	٥	9	28
3	東吾妻-里山-R3-5	R2		東吾妻町	里山·平地林	管理	継続	迦葉地区竹林管理事業	迦葉地区竹林伐採組合	野生鳥獣対策や景観保全を目的とした竹林の整備	18,392	16,000	12	В	,	В	3	В	В
3	木口安 主山 N3 7	成果	竹を早	朝に刈り取り	、繁茂を抑える	ことができた。													
		課題	地域住	民の高齢化に	に伴い、管理体質	制の維持に不安がある。													

		評価番号	事業		市町村名	事業区分	事業細区分	610 6±	事業名	事業実施者もしくは	事業概要	事業費	県補助金	ΙJ	E 績	п —	効果	п —	2効果	判定
		計伽金写	年度	番号	111 11 12 12	争未达刀	/細々区分	花型物化	学来 在	活動団体の名称	争未似女	(円)	(円)	補助 (自己評価)	①平均	地域	②平均	地域	③平均	1+2+3
			R1		東吾妻町	里山·平地林	整備/竹林全伐	新規	生原地区竹林整備事業	生原竹林整備組合	地域の団体による野生鳥獣害対策及び景観保護を目的とし た竹林の整備。	265,190	0	12	12	7	7	0	9	28
	Ι,	東吾妻-里山-R3-6													В	,	В	9	В	В
3	' '	果台委-里山-R3-0	成男	地元》	間辺部におけ	る生活環境の維	持や整備に対する意識	が高ま	otc.											
			課題	活動[団体の高齢化															

	評価番号	事業	計画	市町村名	事業区分	事業細区分	创业业本	事業名	事業実施者もしくは	事業概要	事業費	県補助金	I 隽	績	11 —	効果	п —:	2効果	判定
	計逥推专	年度	番号	ID WITTING	尹未四 刀	/細々区分	和金 初江	尹未石	活動団体の名称	争未恢安	(円)	(円)	補助 (自己評価)	①平均	地域	②平均	地域	③平均	1)+2+3
		R1		沼田市	里山·平地林	困難地整備支援	新規	下沼田町竹林整備事業		沼田市による良好な生活環境の形成を目的とした侵入竹林 の整備。	4,422,000	4,422,000	20	20	e	6	0	9	35
3	沼田-里山-R3-1	R2		沼田市	里山·平地林	管理	継続	下沼田町森林管理事業		当該地は令和元年度に竹林全伐を実施しており、今年度も 荒廃を防ぐため引き続き管理を行う。	76,000	76,000	20	Α	0	В	9	В	А
3	沿山 主山 1/3 1	成果	整備後	後、景観及び智	虫、獣害が軽減	された。冬場の降雪時	の竹の	倒れ込みがなくなり地元が助かっている。											
		課題	地権者	音が揃うことか	難しく、一部のノ	に負担がかかっている	9												

	9π /π π. 	事業	計画	市町村名	事業区分	事業細区分	610 6±	事業名	事業実施者もしくは	事業概要	事業費	県補助金	I 美	績	Ⅱ -1	効果	п —	2効果	判定
i	評価番号	年度	番号	비베인	争未应力	/細々区分	菘枕	争未有	活動団体の名称	争未似女	(円)	(円)	補助(自己評価)	①平均	地域	②平均	地域	③平均	1+2+3
		R1		沼田市	里山·平地林	困難地整備支援	新規	多那地区竹林整備事業(2期)		沼田市による良好な森林環境と住民の憩いの場の形成を目 的とした侵入竹林の整備。	4,312,000	4,312,000	18	17	6	6	0	9	32
2 27 00	В-里山-R3-2	R2		沼田市	里山·平地林	管理	継続	多那地区森林管理事業	大島地域を整備する会	当該地は平成29年度、令和元年度に竹林全伐を実施しており、今年度も荒廃を防ぐため引き続き管理を行う。	86,000	86,000	16	Α	0	В	9	В	Α
3 /11 11	п-≖Щ-К3-2	成果	景観及	び獣害の被害	手が軽減された 。														
		課題	交付され	1る管理費 <i>の</i>	中で、適切に管	理するのに苦慮してい	5.												

	評価番号		事業	計画	市町村名	事業区分	事業細区分	如如	事業名	事業実施者もしくは	事業概要	事業費	県補助金	I 隽	績	11 —	効果	п —	2効果	判定
	計逥丗方		年度	番号	111111111111111111111111111111111111111	争未应力	/細々区分	和金利加	尹朱 有	活動団体の名称	争未似女	(円)	(円)	補助 (自己評価)	①平均	地域	②平均	地域	③平均	1+2+3
			R1		沼田市	里山·平地林	困難地整備支援	新規	追貝地区竹林整備事業(2期)		沼田市による良好な森林環境の形成と獣害対策を目的とし た侵入竹林の整備。	11,935,000	11,935,000	20	18		6		9	33
3	沼田-里山-R3-3	, [R2		沼田市	里山·平地林	管理	継続	追貝地区有害鳥獸対策協議会		当該地は平成26年度、令和元年度に森林間伐及び竹林全 伐を実施しており、今年度も荒廃を防ぐため引き続き管理を 行う。	1,600,000	1,200,000	16	Α	6	В	9	В	Α
			成果	景観及	び獣害の被	手が軽減された 。														
			課題	交付され	ιる管理費σ	中で、適切に管	理するのに苦慮している	5.												

		評価番号	事業	計画	市町村名	事業区分	事業細区分	会会会主	事業名	事業実施者もしくは	事業概要	事業費	県補助金	I 実	績	Ⅱ — 1	効果	II — 2	2効果	判定
		計叫留方	年度	番号	111111111111111111111111111111111111111	争来区力	/細々区分	和金利化	学 来位	活動団体の名称	尹宋伽文	(円)	(円)	補助 (自己評価)	①平均	地域	②平均	地域	③平均	1+2+3
			R1		片品村	里山·平地林	困難地整備支援	新規	里山整備事業		片品村による獣害防止、安全・安心な生活環境づくりを目的 とした生活道や通学路に隣接する森林の整備。	3,809,000	3,809,000	20	20	10	10	15	15	45
3		片品-里山-R3-1	R2		片品村	里山·平地林	管理	継続	里山整備事業		H30、令和元年度に本事業で整備した森林環境を維持し、安全・安心な生活環境を守るための管理	248,000	248,000	20	Α	10	Α	15	Α	А
3	'	八	成果	刈り払い	いにより良好	な森林環境が保	て、鳥獣害対策にも効	果があ [.]	った。											
			課題	環境保	全、鳥獣害対	対策にも効果があ	らったので、引き続き管	理が必	要である。											

	評価番号	事	能計	画	市町村名	事業区分	事業細区分	4/2 4赤	事業名	事業実施者もしくは	事業概要	事業費	県補助金	I 9	ミ績	Π-1	1効果	п –	2効果	判定
	計価無方	年月	番	号	111111111111111111111111111111111111111	争来应力	/細々区分	44± 490	学来 在	活動団体の名称	争未似女	(円)	(円)	補助 (自己評価)	①平均	地域	②平均	地域	③平均	1+2+3
		R			片品村	里山·平地林	困難地整備支援	新規			片品村による獣害防止、安全・安心な生活環境づくりを目的 とした生活道や通学路に隣接する森林の整備。	2,087,000	2,087,000	20	20	10	10	15	15	45
24	片品-里山-R3-2	R	:		片品村	里山·平地林	管理	継続	里山整備事業		H29、30年、令和元度に本事業で整備した森林環境を維持 し、安全・安心な生活環境を守るための管理	386,000	386,000	20	Α	10	Α	15	Α	А
36	Л ш− ± ш−к3−2	成	1 竹木	整備	により見通	しが良くなり日則	飛改善がされたため、冬	期路面	凍結も少なくなった。											
		課題	五 次年	度以	降も管理か	(必要である。														

		評価番号	事業	計画	市町村名	事業区分	事業細区分	创业业本	事業名	事業実施者もしくは	事業概要	事業費	県補助金	I 隽	績		効果		2効果	判定
		計画報号	年度	番号	111111111111111111111111111111111111111	尹未匹刀	/細々区分	和金利加	尹未石	活動団体の名称	争未领安	(円)	(円)	補助(自己評価)	①平均	地域	②平均	地域	③平均	1+2+3
			R1		片品村	里山·平地林	困難地整備支援	新規	里山整備事業	片品村 (農林建設課)	片品村による獣害防止、安全・安心な生活環境づくりを目的 とした生活道や通学路に隣接する森林の整備。	801,000	801,000	20	20	10	10	15	15	45
	.7	片品-里山-R3-2	R2		片品村	里山·平地林	困難地整備支援	新規	里山整備事業		本事業で整備した森林環境を維持し、安全・安心な生活環境 を守るための管理	291,000	291,000	20	А	10	Α	15	Α	Α
1	37	月 昭-王田-K3-2	成果	刈り払	いにより良好	な森林環境が保	て、鳥獣害対策にも効	果があ	った。											
			課題	環境保	全、鳥獣害対	対策にも効果があ	ちったので、範囲を広げ	と管理	が必要である。											

	評価番号	事業	計画	市町村名	事業区分	事業細区分	継続	事業名	事業実施者もしくは	事業概要	事業費	県補助金	I美	ミ績	п — 1	効果	п —:	2効果	判定
	計叫世方	年度	番号	111111111111111111111111111111111111111	争来应力	/細々区分	和企利化	学来 有	活動団体の名称	争未似女	(円)	(円)	補助 (自己評価)	①平均	地域	②平均	地域	③平均	1+2+3
		R1		川場村	里山·平地林	困難地整備支援	新規	川場村竹林整備事業		川場村による鳥獣被害対策と景観保全を目的とした荒廃した 竹林の整備。	10,800,000	10,800,000	16	16		8	12	12	36
24	川場-里山-R3-1													Α	0	Α	12	Α	Α
36	/// ₂₀ <u>т</u> д ((0)	成果	森林・竹	计林整備事業	において、村民	から要望が挙がることか	多くな	り整備事業に対する1人1人の意識が高くなって	きている。										
		課題	整備後	の維持管理。															

	評価番号	事業	計画	ī _	可村名	事業区分	事業細区分	継続	事業名	事業実施者もしくは	事業概要	事業費	県補助金	ΙJ	E 績	II — 1	1効果	п —	2効果	判定
	評価番写	年度	番号	} "·	111111111111111111111111111111111111111	争未应刀	/細々区分	松柳	学 未有	活動団体の名称	争未似女	(円)	(円)	補助 (自己評価)	①平均	地域	②平均	地域	③平均	1+2+3
		R1		J	川場村	里山·平地林	困難地整備支援	新規	川場村森林整備事業		川場村による鳥獣被害対策と景観保全を目的とした荒廃した 森林の整備。	2,160,000	2,160,000	16	16		8	12	12	36
24	川場-里山-R3-2														Α		Α	12	Α	Α
3:	川場-王山-13-2	成果	森林	・竹林	整備事業	において、村民	から要望が挙がることが	が多くな	り整備事業に対する1人1人の意識が高くなって	きている。										
		課題	整備	後の斜	推持管理。															

		評価番号	事業		市町村名	事業区分	事業細区分	がなる本	事業名	事業実施者もしくは	事業概要	事業費	県補助金	I 其	績	II — 1	1効果	п —	2効果	判定
	-	計叫世方	年度	番号	1114111111	尹朱匹刀	/細々区分	和金利定	学 未看	活動団体の名称	争未例女	(円)	(円)	補助 (自己評価)	①平均	地域	②平均	地域	③平均	1+2+3
			R1		昭和村	里山·平地林	困難地整備支援	新規			昭和村による地域の安全・安心な生活環境づくりや獣害防止 を目的とした竹林の整備。	2,670,000	2,400,000	12	12	0	8	0	9	29
	977 ≨⊓	和-里山-R3-1	R2		昭和村	里山·平地林	管理	継続	川額森林管理事業		地域自治会による獣害防止、安心・安全な生活環境づくり、 景観保全を目的とした森林・竹林の整備	270,000	270,000	12	В	0	Α	9	В	В
1) PD 714	ш ±ш кот	成果	冬期に	凍結しやすい	道路に面してい	る場所を重点的に整備	できた	٥											
			課題	範囲内	に斜面が広く	あるため管理が	困難。													

		評価番号	事業	計画	市町村名	事業区分	事業細区分	610 6±	事業名	事業実施者もしくは	事業概要	事業費	県補助金	I 美	緩	Ⅱ — 1	効果	п —:	2効果	判定
		計価番号	年度	番号	111111111111111111111111111111111111111	争未达刀	/細々区分	枢机	尹未 在	活動団体の名称	争未例女	(円)	(円)	補助(自己評価)	①平均	地域	②平均	地域	③平均	1)+2+3
			R1		昭和村	里山·平地林	困難地整備支援	新規	昭和村森林整備事業		昭和村による地域の安全・安心な生活環境づくりや獣害防止 を目的とした竹林の整備。	3,170,000	3,170,000	12	12	0	8	0	9	29
		昭和-里山-R3-2	R2		昭和村	里山·平地林	管理	継続	中内出森林管理事業		地域自治会による獣害防止、安心・安全な生活環境づくり、 景観保全を目的とした竹林の整備	100,000	100,000	12	В	0	Α	9	В	В
4	'	пп—至Щ-К3-2	成果	歩道とi	直路周りの作	業を重点的に実	施できた。													
			課題	管理に	おいて高齢化	比が進み、地区で	の管理が難しくなってる	ている	こと。											

		評価番号	事業	計画	市町村名	事業区分	事業細区分	如蚊	事業名	事業実施者もしくは	事業概要	事業費	県補助金	I 隽	績	II — 1	効果	п —:	2効果	判定
		計逥世芍	年度	番号	111111111111111111111111111111111111111	争未应力	/細々区分	和金利加	学未有	活動団体の名称	争未似女	(円)	(円)	補助(自己評価)	①平均	地域	②平均	地域	③平均	1+2+3
			R1		昭和村	里山·平地林	困難地整備支援	新規	昭和村森林整備事業		昭和村による地域の安全・安心な生活環境づくりや獣害防止 を目的とした竹林の整備。	3,470,000	3,200,000	12	12	0	8	0	9	29
4		昭和-里山-R3-3	R2		昭和村	里山·平地林	管理	継続	入原森林管理事業		地域自治会による獣害防止、安心・安全な生活環境づくり、 景観保全を目的とした竹林の整備	100,000	100,000	12	В	0	Α	9	В	В
4	•	四和 主田 1/3 3	成果	水路周	りの作業を重	点的におこなう	ことができた。													
			課題	急斜面	が多いことや	高齢化により管	理が困難なこと。													

			事業		市町村名	事業区分	事業細区分	610 6±	事業名	事業実施者もしくは	事業概要	事業費	県補助金	I 実	E 績	II — 1	効果	11 -	2効果	判定
		計価番写	年度	番号	111111111111111111111111111111111111111	争未经力	/細々区分	松本初定	尹未 在	活動団体の名称	争未似女	(円)	(円)	補助 (自己評価)	①平均	地域	②平均	地域	③平均	1+2+3
			R1		みなかみ 町	里山·平地林	困難地整備支援	新規			みなかみ町による景観の保全及び近隣住民の安全対策を目 的とした森林・竹林の整備。	2,046,000	2,046,000	16	17	0	9	12	12	38
١,	, ,	みなかみ-里山-R3-1	R2		みなかみ 町	里山·平地林	管理	継続	浅地地区里山管理事業	浅地区	当事業で整備した箇所について、景観保全及び近隣住民の 安全対策のため引き続き管理を実施する。	56,841	53,000	17	Α	9	Α	12	Α	А
4		かなかか-王田-K2-1	成果	年4回	の作業を実施	している。地域化	主民も活動内容を理解し	ており	、効率的に作業を進める事ができた。											
			課題	管理事	業の際に大力	人数で実施する	こともあるため、新型コロ	ナウイ	ルスの影響が今後の活動に影響しないか心配	である。										

	評価番号	事業	計画	市町村名	事業区分	事業細区分	创业业本	事業名	事業実施者もしくは	事業概要	事業費	県補助金	I 隽	績	11 —	1効果	п —	2効果	判定
	計测量方	年度	番号	III WITT TO	学来区 力	/細々区分	和金利化	学来位	活動団体の名称	甲未例女	(円)	(円)	補助 (自己評価)	①平均	地域	②平均	地域	③平均	1+2+3
		R1		mj	里山.平地林		新規	田中地区竹林整備事業		みなかみ町による景観の保全及び近隣住民の安全対策を目 的とした森林・竹林の整備。	4,906,000	4,906,000	15	15	0	9	12	12	36
١,	みなかみ-里山-R3-2	R2		みなかみ 町	里山·平地林	管理	継続	田中地区里山管理事業	上津観音堂耕作組合	当事業で整備した箇所について、景観保全及び近隣住民の 安全対策のため引き続き管理を実施する。	87,000	87,000	15	Α	9	Α	12	Α	Α
4	がながり 主山 N3 2	成果	事業実	施により田畑	周辺の日照が	女善され、効率的な農業	を営め	る可能性を高めることができた。											
		課題	各地均	からの要望が	が多く期待がある	一方で、高齢者が多い	地元で	の管理の難しさや所有者不明での承諾とりなど	事業実施にあたって壁が	ある。									

	6.00	評価番号	事業	計画	市町村名	事業区分	事業細区分	610 6±	事業名	事業実施者もしくは	事業概要	事業費	県補助金	I集	績		効果		2効果	判定
	āŤ	汗恤番芍	年度	番号	111111111111111111111111111111111111111	争来应力	/細々区分	枢机	学未有	活動団体の名称	争未似女	(円)	(円)	補助(自己評価)	①平均	地域	②平均	地域	③平均	1+2+3
			R1		みなかみ 町	里山·平地林	困難地整備支援	新規	下石倉地区竹林整備事業		みなかみ町による景観の保全及び周辺住民の安全対策を目 的とした竹林の整備。	6,655,000	6,655,000	16	16	0	9	12	12	37
١.	E 71+>+> 7	み-里山-R3-3	R2		みなかみ 町	里山·平地林	管理	継続	下石倉地区里山管理事業	下石倉里山保全会	当事業で整備した箇所について、景観保全及び近隣住民の 安全対策のため引き続き管理を実施する。	114,967	107,000	16	Α	9	Α	12	Α	Α
•	3 07/4/15/07		成果	公民館	周辺の竹林が	が鬱蒼としていた	:が、整備により明るくな	り住民	が集まりやすい快適な場所となった。											
			課題	今回事	業を実施した	箇所以外にも、	当地区では侵入竹林が	多いた	め、引き続き竹林伐採を続けていく必要がある	0										

	評価番号	事業	計画	市町村名	事業区分	事業細区分	创业业本	事業名	事業実施者もしくは	事業概要	事業費	県補助金	I 隽	ミ績	II — 1	効果	п —:	2効果	判定
	計逥丗方	年度	番号			/細々区分	和金 初江	尹未 有	活動団体の名称	争未似女	(円)	(円)	補助(自己評価)	①平均	地域	②平均	地域	③平均	1+2+3
		R1		みなかみ 町	里山·平地林	困難地整備支援	新規	後閑地区竹林整備事業		みなかみ町による景観の保全及び周辺住民の安全対策を目 的とした竹林の整備。	1,793,000	1,793,000	15	15	0	9	12	12	36
١,	みなかみ-里山-R3-4	R2		みなかみ 町	里山·平地林	管理	継続	後閑地区里山管理事業		当事業で整備した箇所について、景観保全及び近隣住民の 安全対策のため引き続き管理を実施する。	51,590	51,000	15	Α	9	Α	12	Α	Α
4	がながら 主田 K3 4	成果	事業実	産施後は周辺	が明るくなり地域	住民から大変喜ばれて	いる。	Fた周辺には田畑もあるため、地元農家からもB	日当たりの改善について喜	ばれている。									
		課題	各地均	ぱからの要望が	が多く期待がある	一方で、高齢者が多い	地元で	の管理の難しさや所有者不明での承諾とりなど	事業実施にあたって壁が	. გგვ.									

		評価番号	事業	計画	市町村名	事業区分	事業細区分	610 6±	事業名	事業実施者もしくは	事業概要	事業費	県補助金	I 実	E 績	II — 1	1効果	п —	2効果	判定
		計価番写	年度	番号	111111111111111111111111111111111111111	争未达刀	/細々区分	松本初定	学来 在	活動団体の名称	争来似女	(円)	(円)	補助(自己評価)	①平均	地域	②平均	地域	③平均	1+2+3
			R1		みなかみ 町	里山·平地林	困難地整備支援	新規			みなかみ町による景観の保全及び周辺住民の安全対策を目 的とした竹林の整備。	1,900,000	1,760,000	15	15	0	9	12	12	36
١,	, ,	みなかみ-里山-R3-5	R2		みなかみ 町	里山·平地林	管理	継続	向原地区里山管理事業	下師竹林管理会	当事業で整備した箇所について、景観保全及び近隣住民の 安全対策のため引き続き管理を実施する。	33,088	33,000	15	Α	9	Α	12	Α	А
1	1	かなかか-主田-K3-5	成果	荒廃竹	林のため薄	暗く鳥獣の住処と	なっていたが、整備後、	適正な	管理を行い景観を維持することができた。											
			課題	各地均	からの要望が	が多く期待がある	一方で、高齢者が多い	地元で	の管理の難しさや所有者不明での承諾とりなど	事業実施にあたって壁が	ある。									

	評価番号	10	業	計画	市町村名	事業区分	事業細区分	会会を本	事業名	事業実施者もしくは	事業概要	事業費	県補助金	I 隽	績	11 —	1効果	п —	2効果	判定
	計興報考	ź	F度	番号	1114111111	尹未 匹刀	/細々区分	和金利化	学 未有	活動団体の名称	甲未例女	(円)	(円)	補助 (自己評価)	①平均	地域	②平均	地域	③平均	1+2+3
					144]	里山·平地林		新規	須川·笠原地区竹林整備事業		地域の団体による景観保全と周辺住民の安全対策を目的と した竹林の整備。	1,051,089	1,050,000	15	15	0	9	12	12	36
١,	3 みなかみ-里山-R3-		R2		みなかみ 町	里山·平地林	管理	継続	須川·笠原地区里山管理事業		当事業で整備した箇所について、景観保全及び近隣住民の 安全対策のため引き続き管理を実施する	105,000	105,000	15	Α	9	Α	12	Α	Α
4	2 07/4 N.07 EM 1/3	,	战果	以前は	荒廃竹林によ	り薄暗く、子ども	が安心して遊ぶことが	できない	い現状にあったが、事業実施後は周辺が明るく	なり、地元住民から喜ばれ	ている。									
		910	果題	荒廃竹	林が他にも多	く、引き続き事業	業を実施していく必要が	ある。												

	8T/T T D	事業	計画	市町村名	事業区分	事業細区分	610 6±	事業名	事業実施者もしくは	事業概要	事業費	県補助金	I美	績	I − 1	効果	п —	2効果	判定
	評価番号	年度	番号	111111111111111111111111111111111111111	争未经力	/細々区分	和图形	争未有	活動団体の名称	争未例女	(円)	(円)	補助(自己評価)	①平均	地域	②平均	地域	③平均	1+2+3
		R1		太田市	里山·平地林	困難地整備支援	新規	菅塩町竹林整備事業	太田市 (農業政策課)	太田市による有害鳥獣対策を目的とした荒廃竹林の整備。	3,630,000	1,428,000	16	16	10	10	11	11	37
١,	太田-里山-R3-1													Α	10	Α	"	Α	Α
4	太田-重田-К3-1	成县	竹林の	D除伐·刈払し	・を実施し、見通	しが良くなったことで、イ	ノシシ	D出没がしにくい安心·安全な生活環境を取り戻	すことができた。										
		課題	地域(の高齢化の際	に伴い、維持管	理が難しくなる可能性が	ある。ま	た、区長が変わった際に維持管理を継続できる	6よう引き継いでもらう必要	がある。									

荒廃した里山・平地林の整備

(機器の購入)

評価箇所数	項目	A	В	O	未回答
4	内訳		1		
'	構成比%	0%	100%	0%	0%



	評価番号	事業	計画	市町村名	事業区分	事業細区分	610 6±	事業名	事業実施者もしくは	事業概要	事業費	県補助金	I填	E 績	п —	1効果	п — 2	2効果	判定
	計価銀石	年度	番号	印刷利石	争未达万	/細々区分	和本制定	争未有	活動団体の名称	争未佩安	(円)	(円)	補助 (自己評価)	①平均	補助 (自己評価)	②平均	補助 (自己評価)	③平均	1+2+3
		R1		上野村	里山·平地林	機器の購入	新規	上野村里山景観整備事業	上野村 (振興課)	人家、道路、農耕地周辺の過密化した森林の整備を行い、 獣害の防止及び里山景観美化を推進するための刈払機の 購入	175,275	131,000	12	12	6	6	12	12	30
	上野一里山-R3-1													В		В		Α	В
'	工計 主山 1/0 1	成果	刈り払い	∖機3台を購	入したことにより	作業の効率化がはかれ	た。												
		課題	村内全	域で高齢化、	人口減少により	景観美化活動を実施す	る体制	を維持することが困難になってきているという	課題がある。										

貴重な自然環境の保護・保全

評価箇所数	項目	A	В	С	未回答
	内訳	1			
'	構成比%	100%	0%	0%	0%



	評価番号	事業	計画	市町村名	事業区分	事業細区分	ent e=	事業名	事業実施者もしくは	事業概要	事業費	県補助金	I 9	実績	п —	効果	п —:	2効果	判定
	計逥番号	年度	番号	中町刊石	争未达万	/細々区分	雅图	争朱石	活動団体の名称	争朱佩安	(円)	(円)	補助(自己評価)	①平均	地域	②平均	地域	③平均	3
		R1		藤岡市	自然環境	活動支援	新規	かんな川水辺の楽校環境教育事業	かんな川水辺の栄仪連	観察会を通じた地域住民の自然保護意識の向上及び、神流川に生息する「ギバチ(II)」の生息地周辺の保全活動を行う。	55,221	55,000	16	18	10	10	15	15	43
1	藤岡-自然-R3-1	R2		藤岡市	自然環境	活動支援	継続	かんな川水辺の楽校環境教育事業	かんな川水辺の栄仪連	観察会を通じた地域住民の自然保護意識の向上及び、神流川に生息する「ギバチ(II)」の生息地周辺の保全活動を行う。		250,000	20	А	10	А	15	А	А
		成果	絶滅危	具種ギバチ 等	等生育環境を保	全できた。													
		課題	大型台.	風などの異常	常気象による、環	環境の変化にどう対応し	ていくか	が課題。整備をしても、環境が全く変わってし	まうことを危惧している。										

森林環境教育•普及啓発

評価箇所数	項目	A	В	С	未回答
10	内訳	6	4		
10	構成比%	60%	40%	0%	0%



		評価番号	事業	計画	市町村名	事業区分	事業細区分	継続	事業名	事業実施者もしくは	事業概要	事業費	県補助金	I実	績	II — 1	効果	п —:	2効果	判定
		計叫做方	年度	番号	印刷利石	争未达万	/細々区分	粧椒	争未有	活動団体の名称	争未似安	(円)	(円)	補助 (自己評価)	①平均	地域	②平均	地域	②平均	3
			R1		安中市	教育·普及	森林環境教育	新規	秋間小学校森林環境教育事業		森林に関する興味を育て、将来森林に携わる人材を増や すことを目的に、児童を対象にした地域の森林(里山)を題 材とする環境教育。	302,000	300,000	12	12	5	5	7	7	24
1	安中-	-教育-R3-1	R2		安中市	教育・普及	森林環境教育	継続	秋間小学校森林環境教育事業		森林に関する興味を育て、将来森林に携わる人材を増やすことを目的に、児童を対象にした地域の森林(里山)を題材とする環境教育。	190,000	190,000	12	В	,	В	,	С	В
		2017	成果	身近な	題材を用いる	ことで地域の自	然に興味を向けること	ができた	٤.											
			課題	新型コロ	ロナウイルス	感染拡大防止の	うため、調整が必要とな	ることだ	が課題である。											

		事業	計画	+ m- ++ 47	事業区分	事業細区分	継続	***	事業実施者もしくは	***	事業費	県補助金	I実	績	II — 1	効果	п —:	2効果	判定 ①+②+
	評価番号	年度	番号	市町村名	争来区分	/細々区分	極机	事業名	活動団体の名称	事業概要	(円)	(円)	補助 (自己評価)	①平均	地域	②平均	地域	②平均	3
		R1		安中市	教育·普及	森林環境教育	新規	秋間梅林森林環境教育事業		市内親子を対象とした体験型学習を通じた森林の機能・保 護の重要性の学習。	300,000	300,000	12	12	5	5	7	7	24
2	安中-教育-R3-2													В		В		С	В
		成果	R1年度	[については	計画どおり実施	することができ、現場では	の教育	を深めることができた。											
		課題	R2年度	は新型コロ	ナウイルス感染技	広大防止のため事業廃	止。												

		評価番号	事業	計画	市町村名	事業区分	事業細区分	継続	事業名	事業実施者もしくは	事業概要	事業費	県補助金	I実	績		効果	п —	2効果	判定
		計画银ケ	年度	番号	מי ניי נייינוי	尹未 应刀	/ 細々区分	和企利化	尹朱石	活動団体の名称	学未似女	(円)	(円)	補助 (自己評価)	①平均	地域	②平均	地域	②平均	3
			R1		上野村	教育·普及	普及啓発	新規	フォレスターズチャレンジ2020in上野村	上野村 (振興課)	上野村における森林・林業に関する取組を広くPRするとと もに、他地域の取組についても併せて意見交換をし知見を 深めることで、地域の森林・林業が抱える課題の解決に向 けた取り組みを推進し、地域振興に資する。	198,497	198,000	10	10	6	6	9	9	25
3	L	上野-教育-R3-1													В		В		В	В
			成果	規模縮	小ではあるが	『実施し森林・林	業に関するPRができた	0												
			課題	新型コロ	コナウイルス	の影響が該当年	E度では予測できず、イ・	ベントの)実施が難しかった。											

		評価番号	事業		市町村名	事業区分	事業細区分	经收益	事業名	事業実施者もしくは	事業概要	事業費	県補助金 (円)	[実			効果		2効果	判定
	,	計画银石	年度	番号	111 111 111 111	尹未 应刀	/ 細々区分	和企 490	学朱石	活動団体の名称	学未例 女	(円)	(円)	補助 (自己評価)	①平均	地域	②平均	地域	②平均	3
			R1		富岡市	教育·普及	普及啓発	新規	富岡市県民税PR事業	富岡市(農政課)	地域の団体による獣害対策、景観維持、安全・安心な生活 環境づくりを目的とした竹林管理。	99,684	99,684	11	11	10	10	15	15	36
4	宣岡-	-教育-R3-1													В	10	Α	13	Α	А
	H 101	32 H 110 1	成果	富岡市	産業祭に合材	つせ、クリアファイ	イルやパンフレットの配	布等の	普及・啓発活動を行うことができた。											
			課題	PRを行	うにはイベン	ト等に絡ませる	などの工夫が必要。													

	評価番号	事業	計画	市町村名	事業区分	事業細区分	継続	事業名	事業実施者もしくは	事業概要	事業費	県補助金	I実	績		効果		2効果	判定
	計画番号	年度	番号	1 I I T 40	事未 应刀	/細々区分	RE 490	尹朱石	活動団体の名称	学 来似女	(円)	(円)	補助 (自己評価)	①平均	地域	②平均	地域	②平均	3
		R1		桐生市	教育·普及	森林環境教育	新規			ニホンジカの食害による植生の衰退に対して、効果的な対策を検討、実施しながら植生の復元を図りつつ、森林の多様性を学ぶ。	369,426	369,000	19	15	7	7	10	10	32
5	桐生-教育-R3-1	R2		桐生市	教育·普及	普及·啓発	継続			森林環境をシカの食害から守る保全作業を実習し、効果をモニタリングする。	2,000	2,000	11	Α	•	В	10	В	А
	2/17	成果	社会経	済活動再開	に向けたガイドラ	インが警戒度4となり予	定回数	なができなかったが、森林環境を考える機会が	できたことは大変良かった	5,									
		課題	今後、	参加者を増く	していくことが誤	題。													

		評価番号	事業	計画	市町村名	事業区分	事業細区分	継続	事業名	事業実施者もしくは	事業概要		県補助金	I実	績	п —	1効果	ш −2	効果	判定
		計画番号	年度	番号	111 11 11 12	事未 应刀	/ 細々区分	RE\$ 490	学朱石	活動団体の名称		(円)	(円)	補助 (自己評価)	①平均	地域	②平均	地域	②平均	3
			R1		館林市	教育・普及	森林環境教育	新規		照外巾 (緑の字も推進)	地域住民を対象とした自然観察会を通じて森林や身近な緑の大切さや、地域の緑化意識の向上を目的とた森林環境教育。	24,435	19,000	15	15	9	8	12	12	35
6		館林-教育-R3-1													А	0	А	12	Α	Α
	,	站4个 按月 110 1	成果	実施場	計(赤城自然	公園)や講師か	らの説明など参加者から	らはとて	・ こも好評であり、普段触れることの少ない山林で	での自然観察や森林の持	つ癒しの効果を体験することができた。									
			課題	参加者	fの増加や幅)	太い年齢の方に	参加してもらえるよう、F	Rや周	知方法の工夫が課題。											

		評価番号	事業	計画	市町村名	事業区分	事業細区分	継続	事業名	事業実施者もしくは	事業概要	于木具	県補助金	I実	績	п —	1効果	п — :	2効果	判定
		計画量を	年度	番号	בי ניד ושינוי	学 术位刀	/細々区分	RE 490	学朱石	活動団体の名称	学 来例 女	(円)	(円)	補助 (自己評価)	①平均	地域	②平均	地域	②平均	3
			R1		館林市	教育・普及	森林環境教育	新規		館林市 (緑のまち推進課)	地域の小学生を対象としたツリーイングやネイチャーゲーム等の自然体験を通じた森林環境教育。	147,919	138,000	13	13	0	8	12	12	33
7	6	館林-教育-R3-2													В	0	А	12	А	Α
,		אלי אלי אינים	成果	事前に	みなかみ町で	での現地視察を行	行い講師と現地で打ちる	わせる	をすることにより、注意すべき箇所や周辺施設の	の情報を把握できたため、	滞りなく進行し参加者の満足度も高いものとなった。									
			課題	当初の	想定より参加	1者が少なかった	ため、周知方法を改善	し、参加	加者の増加を図ることが課題。											

	評価番号	事		市町村名	事業区分	事業細区分	継続	事業名	事業実施者もしくは	事業概要	事業費	県補助金	I実	績	II — 1	効果	п — :	2効果	判定
	計画街ヶ	年月	番号 番号	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	学 术位刀	/細々区分	FREE #90	学朱石	活動団体の名称	学 来似女	(円)	(円)	補助 (自己評価)	①平均	地域	②平均	地域	②平均	3
		R1		みどり市	教育·普及	森林環境教育	新規	林業体験事業		県内の小学生(親子)を対象とした、間伐及び木工の体験 を通じた森林環境教育。	502,836	300,000	15	14	7	7	10	10	31
я	みどり-教育-R3-1	R2	!	みどり市	教育·普及	森林環境教育	新規	林業体験事業		間伐や木工の体験活動をとおして、森林の重要さを学習する。	336,469	300,000	13	В	,	В	10	В	В
	V/C / 4x H 110 1	成	間伐作	業の実演や	木の皮剥ぎ体験	など、子どもにもわかり	やすい	内容で事業を実施したことで参加者からは好話	平を博し、森林の大切さを	学んでもらうという目的は達成できた。									
		課題	1 他市町	村在住者の	参加率を上げる	とめに、周知方法を検討	すするこ	ことが課題となる。											

	評価番号	事業	i iti	ı	市町村名	事業区分	事業細区分	幼幼生	事業名	事業実施者もしくは	事業概要	事業費	県補助金	I実	績	II — 1	1効果	п —	2効果	判定
	計画番号	年度	番:	号 '	(I) W) T) 43	尹未 区刀	/細々区分	和企利的	学 术位	活動団体の名称	学 来似女	(円)	(円)	補助 (自己評価)	①平均	地域	②平均	地域	②平均	3
		R1			明和町	教育·普及	普及啓発	新規			住民を対象にした赤城山における自然観察会を通じた森 林環境教育。	365,917	150,000	18	18	6	6	0	9	33
	明和一教育-R3-1														Α	O	В	9	В	А
5	97和一致 自一パ3ー1	成界	参加	者は	事業の当初	目的である森	林を含む自然環境の素	晴らしさ	を学び、夏休みの記憶に残る体験・学習がで	きた。										
		課題	夏場	の子	どもたちのイ	体力と、子どもな	ならではの突発的行動	こ配慮し	、より一層安全・安心な事業実施が課題と考え	える。										

	評価番号	事	業 計	画	市町村名	事業区分	事業細区分	継続	事業名	事業実施者もしくは	事業概要	事業費	県補助金	I実	績	п —	効果	Ⅱ — 2	2効果	判定
	計逥銀方	年月	度 番	号	印刷利益	争未达万	/細々区分	桃本和元	争朱石	活動団体の名称	争未似安	(円)	(円)	補助 (自己評価)	①平均	地域	②平均	地域	②平均	3
		R	1		邑楽町	教育·普及	環境教育	新規	自然観察教室支援事業(長柄公民館)		市民を対象とした自然観察を通じた森林や生態系の学習と、自然環境への興味関心の醸成。	225,680	225,000	12	13	0	8	12	12	33
10	邑楽-教育-R3-1	R	2		邑楽町	教育·普及	環境教育	継続	自然観察教室支援事業(長柄公民館)	邑楽町教育委員会 (生涯学習課)	自然観察をとおして、森林の役割を学習する。	156,933	156,000	14	В	8	А	12	Α	Α
10	巴来一致有一N3-1	成:	果 邑	美町 近	近隣の身近な	は植物の観察が	できた。参加者からはり	地元の目	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・) D声があがった。										
		課	道 新型	믿그ㅁ	ナウイルス	感染拡大の影響	『により、現地でのバス	研修が	できなかったため、中止・延期・会場の変更等の	D判断が遅れてしまった。。	今後は観察場所や内容の代替案を用意しておくことが課題で	: ある。								

森林の公有林化

評価箇所数	項目	A	В	С	未回答
4	内訳	1			
ľ	構成比%	100%	0%	0%	0%



	評価番号	事業年度	計画	市町村名	事業区分	事業細区分	継続	事業名	事業実施者もしくは	事業概要	事業費	県補助金	ΙJ	E 績	II — 1	効果	п —:	2効果	判定のエクエ
	計価報号	年度	番号	印刷行在	争未经万	/細々区分	和企利化	中未石	活動団体の名称	争未似女	(円)	(円)	補助 (自己評価)	①平均	地域	②平均	地域	③平均	3
		R1		川場村	森林の公有林 化	水源地域森林の公有 林化	新規	川場村水源地域森林公有林化事業	川場村	一級河川薄根川の上流の森林を公有林化し、利根川上流 域の水源の機能向上を図る。	20,000,000	10,000,000	12	12	0	8	12	12	32
	川場-公有林-R3-1													В	0	Α	12	Α	Α
ľ		成果	事業地	を公有林化	することができた	۰													
		課題	いかに	して村による	管理を実施し、	利根川上流域の水源の	機能向	上をはかっていくかが課題である。											

独自提案事業

評価箇所数	項目	A	В	С	未回答
o	内訳	6	2		
8	構成比%	75%	25%	0%	0%



	評価番号	事業	計画番号	市町村:	3 事業区分	事業細区分	継続	事業名	事業実施者もしくは	事業概要	事業費	県補助金	ΙŞ	実績	II — 1	効果	п —:	2効果	判定
	計叫併与	年度	番号	1[J III] #Y	中未 企力	/細々区分	邢土 初10	争朱石	活動団体の名称	争未例女	(円)	(円)	補助 (自己評価)	①平均	地域	②平均	地域	③平均	3
		R1		川場村	独自		新規	川場村後山整備事業	川場村 (むらづくり振興課)	川場村の代表的な里山である後山に顕在する病害虫被害 木を伐倒し、植林を実施することで、森林環境・景観を回復 させる。	800,000	400,000	12	12	0	8	12	12	32
	川場-独自-R3-1													В	0	Α	12	Α	Α
ľ	川場-独日-10-1	成果	適正な	で管理の継	売により良好な系	は林景観を形成できた。													
		課題	整備部	完了後の良	好な状態を維持	するよう、管理の継続が	課題。												

	評価番号	事業	計画	市町村名	事業区分	事業細区分	継続	事業名	事業実施者もしくは	事業概要		県補助金	ΙJ	ミ績	II — 1	効果	п —	2効果	判定
	計圖留写	年度	番号	111 111 111 121	争未必万	/細々区分	和企 初 定	尹未在	活動団体の名称	争未似女	(円)	(円)	補助 (自己評価)	①平均	地域	②平均	地域	③平均	3
		R1		川場村	独自		新規	川場村炭焼窯整備事業	川場付 (またべく) 振爾卿)	炭焼き体験を通じて里山に対する理解を深めるとともに、 炭利用推進に資することを目的とした炭焼窯及び薪割機の 整備。	1,955,800	977,000	12	12	8	8	12	12	32
2	川場-独自-R3-2													В	ŭ	Α		А	Α
	711-80 SALI 110 E	成果	施設整	備ができた。	今後は活発な活	所用に努め、森林への関	心を広	めていきたい。											
		課題	適正な	管理及び、炭	焼きを通じた森	林への理解を広めること	が課題	i.											

	評価番号	事業年度	計画	市町村名	事業区分	事業細区分	継続	事業名	事業実施者もしくは	事業概要	事業費	県補助金	ΙŞ	実績	Ⅱ -1	効果	п —	2効果	判定
	計興報方	年度	番号	III MI ATI	争未应刀	/細々区分	邢企 初江	尹未 有	活動団体の名称	争未例女	(円)	(円)	補助 (自己評価)	①平均	地域	②平均	地域	③平均	3
		R1		太田市	独自		新規	学校クビアカツヤカミキリ駆除事業		クピアカツヤカミキリによる被害拡散防止のため被害木へ の薬剤注入を行う	638,000	319,000	11	13	E	5	0	8	26
2	太田-独自-R3-1	R2		太田市	独自		継続	クビアカツヤカミキリの防除・駆除事業		クビアカツヤカミキリによる被害拡散防止のため被害木へ の薬剤注入を行う	8,487,600	4,243,000	15	В	3	В	0	В	В
3	☆田-祖日-K3- 1							なの造園業者と打ち合わせや情報収集を行い		・ ・									
		課題	他故官	理有が子校(<i>ざ</i> める∟とから、1	合子校での体制は万宝	こはいる	にはい。争務同担ヨ有で筆校を管理すること不可	可能であるにめ、効率的な	官性力法を予仮も快割していく必要がある。									

	評価番号	事業年度	計画	市町村名	事業区分	事業細区分	継続	事業名	事業実施者もしくは	事業概要	事業費	県補助金	ΙŞ	ミ績	II — 1	効果	п — 2	2効果	判定
	計叫世方	年度	番号	III MI ATI	争未应刀	/細々区分	邢企 初江	尹未 在	活動団体の名称	争未例女	(円)	(円)	補助 (自己評価)	①平均	地域	②平均	地域	③平均	3
		R1		館林市	独自		新規	都市公園等クビアカツヤカミキリ対策事業		クビアカツヤカミキリによる被害拡散防止のため被害木へ の薬剤注入を行う	2,335,482	1,167,000	14	14	0	8	12	12	34
	館林-独自-R3 -1	R2		館林市	独自		継続	公共施設クビアカツヤカミキリ対策事業		クビアカツヤカミキリによる被害拡散防止のため被害木へ の薬剤注入を行う	6,015,625	3,004,000	14	В	0	А	12	Α	А
4	照林-独自-R3 -1	成果	今年度	は樹幹注入を	始めて2年目と	なるが、昨年度の樹幹	注入に。	より被害の進行が収まった被害木も多くみられ	た。クビアカツヤカミキリ被	皮害拡大を防ぐ効果をより高めるために昨年よりも樹幹注入を	行う範囲を	広げることが	できた。						
		課題	樹幹注	入の効果は3	5ヶ月程度しか持	続しないため、毎年防門	余を実施	Eする必要があり、費用と手間がかかってしま	5問題がある。										

	評価番号	事業年度	計画	市町村名	事業区分	事業細区分 /細々区分	継続	事業名	事業実施者もしくは 活動団体の名称	事業概要	事業費(円)	県補助金	I 実績		Ⅱ-1効果		Ⅱ -2効果		判定
			番号	中町刊名	争未经万							(円)	補助 (自己評価)	①平均	地域	②平均	地域	③平均	3
		R1		館林市	独自		新規	学校施設等クビアカツヤカミキリ対策事業	館林市 (教育委員会)	クビアカツヤカミキリによる被害拡散防止のため被害木へ の薬剤注入を行う	367,783	183,000	14	14	0	8	12	12	34
_	松井 Xh 白 Da a													В	0	Α	12	Α	А
5	照称-纽日-K3-2	館林-独自-R3-2 成果 業者に委託せず職員が樹幹注入を実施したことにより経費を削減できた。																	
		課題	被害拡	大により教育	総務課職員のみ	*では樹幹注入の対応	が難しい	いため、今後は得られた技術を学校現場の職員	等に伝え、クビアカツヤク	bミキリ防除方法の普及を図る必要がある。									

	評価番号	事業年度	計画	市町村名	事業区分	事業細区分	継続	売 事業名	事業実施者もしくは 活動団体の名称	事業概要	事業費(円)	県補助金	I 実績		Ⅱ -1効果		Ⅱ -2効果		判定
			番号	III MI ATI ATI		/細々区分	和生物化					(円)	補助 (自己評価)	①平均	地域	②平均	地域	③平均	#3 3 I
		R1		明和町	独自		新規	クビアカツヤカミキリ対策事業		クビアカツヤカミキリによる被害拡散防止のため被害木へ の薬剤注入を行う	79,090	38,000	13	13		6	0	9	28
	明和-独自-R3-1	R2		明和町	独自		継続	クビアカツヤカミキリ対策事業	明和町	クビアカツヤカミキリによる被害拡散防止のため被害木へ の薬剤注入を行う	892,650	446,000	13	В	0	В	9	В	В
0	95 和 2里 日 - 125 - 1	成果	果町内のクビアカツヤカミキリの駆除を実施し、被害を拡大を防ぐことができた。																
		課題	クビアカ	コツヤカミキリ	の駆除は、住民	の協力が必要であるた	め継続	的に事業を実施できるように、周知を図ること	が課題。										

	評価番号	事業年度	計画	市町村名	事業区分	事業細区分 /細々区分	継続	事業名	事業実施者もしくは 活動団体の名称 事業概要 (円)		県補助金	I 実績		Ⅱ-1効果		Ⅱ -2効果		判定	
			番号	印刷料在	サポロカ			学 来位		争未例女	(円)	(円)	補助 (自己評価)	①平均	地域	②平均	地域	③平均	3
		R1		邑楽町	独自		新規	クビアカツヤカミキリ駆除事業		クビアカツヤカミキリによる被害拡散防止のため被害木へ の薬剤注入を行う	486,000	243,000	12	12	0	8	12	12	32
7	邑楽-独自-R3-1	R2		邑楽町	独自		継続	クビアカツヤカミキリ駆除事業		クビアカツヤカミキリによる被害拡散防止のため被害木へ の薬剤注入を行う	968,000	484,000	16	В	۰	Α	12	Α	А
,	色架-独自-K3-1	成果 昨年度と同様の活動を継続して行うことができた。																	
		課題	被害が	拡大している	ため、できる限り	リ事業を拡大する必要が	がある。				•		•	•		•			

	評価番号	事業年度	計画	市町村名	事業区分	事業細区分	継続	統事業名	事業実施者もしくは 活動団体の名称	事業概要	事業費(円)	県補助金	I 実績		Ⅱ -1効果		Ⅱ 一2効果		判定のよのよ
			番号	1114111111	学 未应力	/細々区分	462 496					(円)	補助 (自己評価)	①平均	地域	②平均	地域	③平均	3
		R1		千代田町	独自		新規	クビアカツヤカミキリ対策事業		クビアカツヤカミキリによる被害拡散防止のため被害木へ の薬剤注入を行う	1,587,600	777,000	14	14	0	8	12	12	34
	千代田-独自-R3-1	R2		千代田町	独自		継続	クビアカツヤカミキリ対策事業		クピアカツヤカミキリによる被害拡散防止のため被害木へ の薬剤注入を行う	1,871,210	935,000	13	В	0	А	12	А	Α
8	十代田-独自-R3-1	成果	町職員	町職員直営で樹幹注入を実施したことで迅速な施工ができただけでなく、職員一人一人にクビアカツヤカミキリ防除意識が芽生え、成虫捕殺等前向きな姿勢が見られる様になった。															
		課題	昨年よ	り樹幹注入を	実施しているが、	、サクラ内部の幼虫を完	全に駆	除できているとは言い難い。樹幹注入以外のス	方法でのクビアカツヤカミ	キリ防除法等を検討していく必要がある。									